



No.56

発行／融通念佛宗総本山
大念佛寺大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

迎春



融通念佛宗管長

倍巖良舜

平成二十二年の新春おめでとうございます。
昨年は政界も大きく動きました。
経済も厳しい状態が続いています。
私達も政治、経済に無関心ではおられません。国民の為によい方向に動いてくれることを願っております。

去年五月八日より十二日まで私は岡田眞澄庶務部長が念法真教団の「サイパン島戦没殉難者慰靈法要」に御招待を受け、有り難く参加させて頂きました。サイパン島は年平均気温二十七度の常夏の島、美しい花、ブルメリア（南洋桜）

和の大戦で三百万人の戦没者を出した。その内三百四十万人が外地で亡くなつておられます。この大戦を実際に知っている者は年々少なくなつてきましたが、この史実を忘れてはなりません。今の日本はかなり平和ボケになっています。もう少し緊張感を持たねばならぬと思っております。

私は今年満年令で米寿を迎えたことになりました。私の生まれた

と呼ばれる美しい木。波瀬かな大洋、まさに地上の楽園であります。ところが六十数年前太平洋戦争の末期、昭和十九年にはこの島が地獄と化し、アメリカ軍に追いつめられた日本軍はこの年内、数千名の方が島の北端マッピ岬のバンザイクリフ、スーサイドクリフといふ断崖絶壁より飛び降り、自決されました。米軍の撮ったフィルムで、モンヘ姿の女性が次々と飛び降りる姿をみると血の凍るような思いが致します。今でも旧日本軍の戦車の残骸や米軍上陸用舟艇の残骸、砲弾で吹きとばされた山はまだなど戦争の爪あとがなまなましく残つております。念法真教団が平成二十年五月にバンザイクリフに立派な戦没殉難者慰靈塔を建立されました。丁度建立一周年の五月十日にこの地において念法真教の稻山靈芳御燈主を始めとし、約二百名の念法信徒の方々と共に厳粛かつ莊嚴な慰靈法要が厳修され、その法要に参列させて頂きました。日本は太平洋戦争で三百万人の戦没者を出した。その内三百四十万人が外地で亡くなつておられます。この大戦を実際に知っている者は年々少なくなつてきましたが、この史実を忘れてはなりません。今の日本はかなり平和ボケになっています。もう少し緊張感を持たねばならぬと思っております。

大正十一年は軍縮時代で、まだ平和の風が吹いておりました。アイ

ンシュタイン博士が来日したり、創立されたり、大正ロマンの空気が残つておりました。しかし、昭

和六年に満州事変がおこり七年には満州国建国、十一年には二・二六事件等を経て日本は急速に軍國主義化していきます。その後、昭和十六年太平洋戦争に突入、そして二十年に敗戦しました。それから戦後の混乱期が数年続き、その後急速に復活し、今日のように経済的には大国といわれるようになります。

この激動の時代をのりこせたのは神仏の御加護を頂いたおかげであると厚く感謝をいたしております。さて五年さきの平成二十七年には、融通念佛宗開宗九百年と大通上人三百回御遠忌の大法要が執り行なわれます。御遠忌奉修局も立ちあがりました。教宣法要部・記念事業部・勸財会計部の三部に分かれ、いよいよ具体的な活動が始動することになります。

九百年も経っているのに宗団としては関西のみに閉じこもつている現状を大変残念に思っています。融通念佛宗や総本山大念佛寺の知名度をもつと上げるように致ねばなりません。

大通上人が天和二（一六八二）年より融通念佛宗の復興に奔走され元禄元（一六八八）年に幕府より融通念佛宗独立の許可を得られました。この間、大坂と江戸の間を五回程往復されておられます。

その御苦労たるや大変なものであったと思います。大通上人の三百回御遠忌にむけて融通念佛宗興隆のため、宗内一致協力して全力で頑張つていかねばならないと思つております。

開宗900年記念 大法要 大通上人300回御遠忌

平成27年5月1日～5月7日

初詣

大晦日除夜鐘つき法要
年末年始は本山へ融通念佛宗
総本山 大念佛寺

総本山で
三年に一度の

加行執行

“黙々と修行”そこに仏法がある

融通念佛宗宗務総長 吉村暉英

十二月二十日より二十七日まで、
加行とともに、宗門の伝燈相承式
が修行され 四十九人の修行僧（所

化〔導かれる人〕が入行する。
この行法は三年に一度、冬に行
われるもので、加行とは宗門の血
脈・密伝等

を伝授する
ための準備的な修行を

いう。具体的には水行、

勤行（おつとめ）、

作務（労働、

掃除）法儀

講習などである。

伝燈相承

式は法脈と

宗脈の二つ

に分かれ、

法脈は日常生活規範として仏さまのいましめ（戒法）を受け、宗祖良忍上人が阿弥陀仏から感得された御文を伝授される。宗脈は奥伝ともいふべきもので、

法脈を終えた者はさらに深い境地の法門を传授される。これを密伝といいう。

本来は準備的修行と伝燈相承式の二つに分かれるが、普通には加行といえばこの二つを合わせた総

称として用いられる。
本宗においては、檀信徒を導くための資格を得た僧侶（これを教師という）になるために、毎年日を決めて行われる安居（一週間）

本山で宿泊し勤行、宗学の習得、法儀の研鑽等を修するもの）を四回、

そして三年毎の冬の加行二回（法

脈と宗脈）の計六回の規定された大きな修行の閑門がある。

法脈を受けるには先に安居を一回以上は受けておかねばならない。

また宗脈は三回以上の安居を満成し、

法脈を済ませた者が有資格者となる。

次に加行の日課を簡単に述べる

と以下のようにある。朝四時起床、八時から九時三十分まで法儀講習と講義、九時三十分水行、十時から朝の勤行と礼拝、続いて諸堂と歴代上人墓所の参拝、七時朝食、八時から九時三十分まで法儀講習と講義、九時三十分水行、十時から日中の勤行と礼拝、十一時中食、十三時から十四時三十分まで法儀講習、十四時三十分水行、十五時から日没の勤行と礼拝、十七時薬石（夕食のこと、仏道修行においては、午後は食事をしないとい

う古来のしきたりに従い、空腹をしのぐため薬を服するという意味で食を摂る）続いて入浴、十九時法儀作法と講義、二十二時就寝となつてきている。



修行するのか、こんなことをして何になるのかという一切の疑念や理屈を投げ捨てて修行する。仏道修行に理屈はない。強いていえば修行のために修行するものである。

早朝四時の水行はさすがにきついもので、近年は暖冬のせいでそんなことはないが、かつてはコチコチに凍ついた筵を踏みしめ、水桶の氷を割つて沐浴したものであります。水行の一瞬の無念無想の境地、身心にみなぎる緊張感こそ、他では体験できない大切な修行である。

修行するのか、こんなことをして何になるのかという一切の疑念や理屈を投げ捨てて修行する。仏道修行に理屈はない。強いていえば修行のために修行するものである。

新年明けましておめでとうございます。

寺庭婦人会が発足して、今年で二十七年目を迎えます。先輩会員や現会員の皆様の努力と協力を得まして、年間を通して色々な行事を行っております。

五月三日は「万部会バザー」として、会員から品物を寄付していただき、それを本山の万部に参詣下さった方々に販売し、その収益を、

本山の横にあります大念佛寺社会事業団の方に毎年、そして隔年ごとに大阪府と奈良県の社会福祉協議会の方に寄付させていただいております。少額ではありますが、続けさせて頂けることに感謝しております。

また、昨年の夏に別時念仏の会主催の「子供修行体験（念佛会）」のお手伝いをしました。一泊二日にわける行事でしたが、私達寺庭にわける行事でしたが、私達寺庭は子供念佛会のスタッフの方と、行事に参加した子供達の食事作り常の行住坐臥（歩くこと、止まるうこと、すわること、臥すこと、こまの四つはすべての動作の基本であるところからこれを四威儀といふ）すべてがこれ仏法、すべてがこれ修行ということである。

加行、安居のときだけが修行ではなく、仏教の説くところは、日々の苦勞を思い、天地自然の大いなるめぐみに感謝していただきの

である。そしてわれわれの生命をつなぐために、この食物が自らの

命を犠牲にしてくれているとい

うことには思いを致すのである。

加行、安居のときだけが修行ではなく、仏教の説くところは、日々の行住坐臥（歩くこと、止まるうこと、すわること、臥すこと、こまの四つはすべての動作の基本であるところからこれを四威儀といふ）すべてがこれ仏法、すべてがこれ修行ということである。

新年によせて

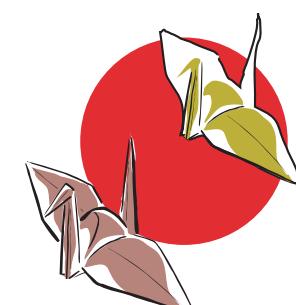
寺庭婦人会会長 宗田康美

新年明けましておめでとうございます。

寺庭婦人会が発足して、今年で二十七年目を迎えます。先輩会員や現会員の皆様の努力と協力を得まして、年間を通して色々な行事を行っております。



子供修行体験



奈良県知事室にて

私達寺庭婦人会は、今年も「少しでも人様のために」との思いで活動してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

が佛教の教えに触れる機会はなかなかありません。若いご両親や、祖父母の働きかけで、こうした縁をいただいて子供達は修行を体験していました。子供は、不思議と順応性があり念佛やお経に違和感なしに入つてゆくと、大阪・大念佛通信にも書かれてありました。

が仏教の教えに触れる機会はなかなかありません。若いご両親や、祖父母の働きかけで、こうした縁をいただいて子供達は修行を体験していました。子供は、不思議と順応性があり念佛やお經に違和感なしに入つてゆくと、大阪・大念佛通信にも書かれてありました。



投句無料

七つの幸せを招く「なにわ七幸めぐり」

第九回 なにわ七幸めぐり俳句大賞

吟行し、メールあるいは、
ハガキで応募して！

入賞も!!

大阪天満宮／ゆかりの句
西山宋因 向榮庵跡碑の句碑
難波津にさく夜の雨や春の花
宋因

住吉大社／ゆかりの句
大橋櫻坡子の句碑

住吉に歌乃紙あり初詣
櫻坡子

太融寺／ゆかりの句
天保二年建立の句碑

四條畷神社／ゆかりの句
天保二年建立の句碑
昔問へばすすき尾花の嵐吹く
永田友之

太融寺／ゆかりの句
小林一茶が訪ねて呼んだ句

春風や巡礼共がねり供養
芭蕉

一茶

芭蕉／五〇回忌 天保十四 建立の句碑

しら菊の目に立て見る塵もなし
芭蕉

芭蕉

今宮戎神社／ゆかりの句

阿波野青畝の句碑
陋巷を好ませたまひ本戎

芭蕉

四天王寺／ゆかりの句
生田南水の句碑 環に花朝の句碑も

青畝

選考／宇多喜代子・和田悟朗・大石悦子・茨木和夫
賞／大賞 四名以内〔賞状・副賞 一万円分の商品券〕
特別賞 四名以内〔賞状・副賞 五千円分の商品券〕
佳作 二十名以内〔賞状・副賞 三千円分の商品券〕

発表／平成二十二年五月一日

〔受賞者に通知すると共に、
各社寺の境内に掲示します〕

表彰式／平成二十二年五月二十二日 会場・四天王寺

応募締切／平成二十二年三月三十一日まで（消印有効）
作品／主催する七社寺ゆかりの年中行事、風景、歴史などを素材とする未発表の作品。

応募要項／①応募料は無料です。
②応募句数は一人につき七句までとします。

七句を超える応募は選考の対象とはなりませんので
ご注意ください。

③応募句の描写した寺社名を、応募句と一緒に付記して
ください。

④氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢を記入の
うえ、官製はがき・封書・Eメールのいずれかで、
ご応募ください。

「なにわ七幸めぐり」

なにわ七幸めぐり WWW.WEB SITE
NANIWA SHICHIKOUホームページ

〈PCホームページ〉 <http://www.geocities.jp/naniwa7kou/>
〈メールアドレス〉 naniwa7kou_haiku@yahoo.co.jp

大念佛寺佛教講座

佛教とは何か？ 佛教の歴史を解りやすくお話しします。
宗派にかかわらずどなたさまでもご聴講下さい。

◎日 時 毎月 第2水曜日 午後2時～午後4時30分
◎会 場 大念佛寺 白雲閣1階 大広間
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026
◎受講料 無料 （参加申し込み・参加資格不要）

第1期講座

平成22年 1月13日 2月10日 3月10日

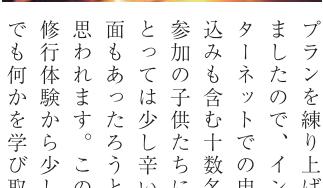
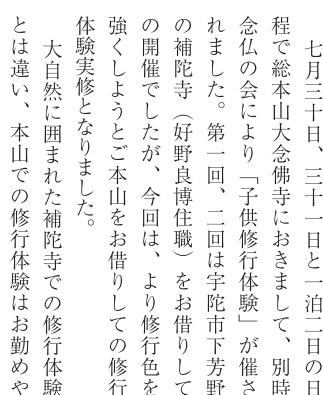
【講座】①「お釈迦さまの生涯とその教え」
戸田孝重（教学研究所研究員 柏原 西光寺副住職）

【講座】②「日本佛教史の基礎講座」
神崎壽弘（教学研究所研究員 東大阪 圓通寺内）

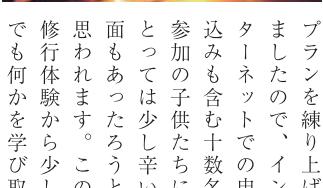
※どの講座から受講されてもかまいませんので、
多数のご来場をお待ちしております。

三回目の子供修行体験開催される

別時念仏の会 山田陽道



プランを練り上げ
ましたので、イン
ターネットでの申
込みも含む十数名
参加の子供たちに
とっては少し辛い
面もあつたろうと
思われます。この
修行体験から少し
でも何かを学び取
ってくれば、開催者としては
嬉しいことだと
思っております。



え付けられた念
仏修行体験の種
が芽を出し、い
つか大きな実を
付ける日が来る
よう願つてやみ
ません。

末寺巡礼③
柏原・八尾・東大阪の寺々

柏原市山ノ井町七・三
清水山 山井寺

柏原市山ノ井町七・三
清水山 山井寺

清水山と号し、享和元（一八〇〇）
に「山井堂の傍に清冷甘味な閑伽
井」という泉あり」と紹介されている。

ご本尊は高さ一・二メートルの
阿弥陀如来立像。寛政八（一七九六）
年、祐山上人の時に建立の記

録はあるが本堂に吊るされている
半鐘には天明元（一七八一）年の
寄進記録が残っている。また、明

治二年良存上人が二十三世との記

録から推測して、おそらく創建は
江戸中期の一七〇〇年代のはじめ

ではないかと思われる。また、明

治二年良存上人が二十三世との記

録はあるが本堂に吊るされている
半鐘には天明元（一七八一）年の
寄進記録が残っている。また、明



壺井寺



山井寺

放光山 意満寺

八尾市黒谷二・五九

黒谷は、東高野街道の南高安より
信貴山への數十丁ある参道沿い
の村で、お寺はその参道の四丁目
と号し、現在の本堂は、寛政三
（一七九一）年に再建されたもの
である。ご本尊は阿弥陀三尊座像、
両祖師は木像である。信貴山参道
の十丁目の茶屋あたりにあつたと
思われる毘沙門天王立像も、おま
づりしている。



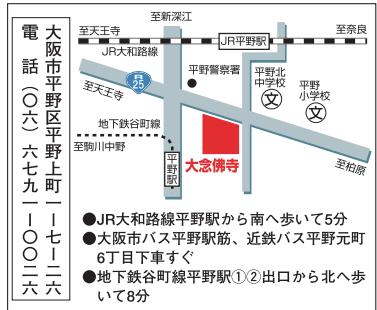
意満寺



インターネットで大念佛寺の情報をご覧下さい。
<http://www.dainenbutsuji.com/>



大善寺



インターネットで大念佛寺の情報をご覧下さい。
<http://www.dainenbutsuji.com/>

大念佛寺年中行事ご案内（二月～七月）

◎修正会

一月一日 午前五時

国家安泰・五穀豐穰・万民豊楽
を祈願して法要が修されます。

◎融通念仏会

五月十六日 午前十一時

ご一緒にお念仏を称えましょう。

◎百万遍会

五月十六日 午後一時

外陣いっぱいに張りめぐらされ
た数珠を、お念仏の声もろとも
に繰ります。管長猊下から身体
堅固のお加持が受けられます。

◎東照大權現忌

五月二十九日 午後三時頃

中祖法明上人御忌法要

七月七日 午後一時

◎定例布教

五月二十六日 午後一時三十分

◎大念佛寺仏教講座

五月第二水曜日

◎河内御回在御帰院

五月二十九日 午後一時

◎元祖聖心大師御忌法要

二月二十六日 午後一時

◎納骨諸靈護持法要

二月二十七日～三月五日 午後二時

◎河内御回在御出光

三月二日 午前七時三十分

◎再興大通上人御忌法要

三月五日 午後一時

◎春季彼岸会

三月二十日

◎写経奉納供養・筆供養

三月三十一日 午後一時

◎万部法要

五月一日～五日 午後一時

ア弥陀經一万部が誦詠され、本

堂の外側に橋を組んで、雅樂演

話せば心も軽くなる

大阪仏教アレホン相談室
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。
火曜日：淨土宗・融通念仏宗 水曜日：淨土真宗本願寺派・真宗大谷派
木曜日：天台宗・真言宗 金曜日：臨済宗・曹洞宗・黄檗宗 月曜日：日蓮宗
（月曜日・金曜日 一月十四日・十二月二十四日（八月休）

でんわ

〇六

（六二四五）

五一一〇

午後二時～五時迄

奉のうちに菩薩さまがお練りを
される儀式です。

◎融通念仏会

五月十六日 午前十一時

ご一緒にお念仏を称えましょう。

◎百万遍会

五月十六日 午後一時

外陣いっぱいに張りめぐらされ
た数珠を、お念仏の声もろとも
に繰ります。管長猊下から身体
堅固のお加持が受けられます。

◎東照大權現忌

五月二十九日 午後三時頃

中祖法明上人御忌法要

七月七日 午後一時

◎定例布教

五月二十六日 午後一時三十分

◎大念佛寺仏教講座

五月第二水曜日

◎河内御回在御帰院

五月二十九日 午後一時

◎元祖聖心大師御忌法要

二月二十六日 午後一時

◎納骨諸靈護持法要

二月二十七日～三月五日 午後二時

◎河内御回在御出光

三月二日 午前七時三十分

◎再興大通上人御忌法要

三月五日 午後一時

◎春季彼岸会

三月二十日

◎写経奉納供養・筆供養

三月三十一日 午後一時

◎万部法要

五月一日～五日 午後一時

ア弥陀經一万部が誦詠され、本

堂の外側に橋を組んで、雅樂演

話せば心も軽くなる

大阪仏教アレホン相談室
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。
火曜日：淨土宗・融通念仏宗 水曜日：淨土真宗本願寺派・真宗大谷派
木曜日：天台宗・真言宗 金曜日：臨済宗・曹洞宗・黃檗宗 月曜日：日蓮宗
（月曜日・金曜日 一月十四日・十二月二十四日（八月休）

でんわ

〇六

（六二四五）

五一一〇

午後二時～五時迄